

# 地震発生時フローチャート

ゆっくり落ち着いて、身の安全を最優先に

## ■地震が起きたら

机の下に身を隠す、柱などにつかまり揺れがおさまるまで身の安全を確保して下さい。

照明器具の落下、ガラス窓の飛散、机、機材等の転倒に注意して下さい。（頭、首を最優先に守る。）

可能であれば避難経路確保のため、入り口のドアを開けて下さい。

## ■揺れがおさまったら

スタッフが各会場をチェックするので、すぐには屋外に避難せず、建物内で待機して下さい。

（※天井や壁の崩落等明らかに緊急避難の必要がある場合は、通常の階段で1Fから外に避難して下さい。）

けが人がいる場合は、1F事務所に救急箱がありますので周囲の方協力のもと処置をお願い致します。

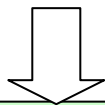
火災が発生した場合は、消火器等で初期消火に努めて下さい。

## ■一時避難について

千代田区は地区内残留地区です。原則として建物内での残留を推奨していますが、一時避難を希望される場合はスタッフまでお申し出下さい。（一時避難場所：後樂園一帯）

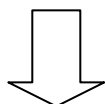
避難の際は道路の中心を歩き、窓ガラスや看板等の落下物、電柱の倒壊や切れた電線に注意して下さい。

## ■情報収集



地震発生後しばらくは余震が続きます。建物の安全が確認できたらすぐに避難せず、家族の安否確認など情報収集に努めて下さい。携帯電話や固定電話はつながりにくくなっております。災害用伝言ダイヤルで家族間の連絡等に活用できます。

## ■帰宅困難者の対応



大地震発生後、JR等の公共交通機関は全てストップします。その際は徒歩での帰宅となりますので、帰宅が困難な場合は災害時退避場所をご案内します。スタッフまでお申し出下さい。

上記は一般的な例であり、震度7クラスの地震が起きた場合は建物の倒壊や地盤の液状化、大規模火災など様々な被害が予想されます。この地域では津波の被害はほとんどないものと予想されてますが、想定外の被害が起こることがあります。

地震が来たらまずは身の安全を最優先に、そしてあわてず冷静な行動をお願いします。

スタッフ一同、皆様との連携のもと状況に応じ最善の行動をとるよう心がけます。

災害の際は、ご利用者の皆様とのご協力をぜひお願い申し上げます。

